

Case : 76

シルバーカーに足がついて行けず、前方へ転倒しそうになる

場面の説明

坂道で本体の進む速度に足がついていけなくなった



| | |
|----------------|--|
| 利用シーン |  移動  外出 |
| 主な利用場所 |  坂道 |
| 介護保険の種目 | — |
| 分類コード (CCTA95) | 120690 (シルバーカー) |
| 介護テクノロジー | — |
| 二次元バーコード |  |

解説

独力での歩行が不安定な人がシルバーカーのハンドルに過度によりかかっていたり、荷物を積んで重たくなっていることが考えられます。ブレーキ操作をするなど安全に利用してください。利用者の歩行能力によっては坂道の利用を控えることも必要です。

参考要因（要因の例であり、これだけが正解ということではありません）

- 人：寄りかかり身体を支えてくれる道具だと思い込んでいた
- 人：坂道でも安全に移動できると過信していた
- 人：ブレーキ操作に慣れていなかった
- 環境：身体機能を確認し、シルバーカーが安全に使えるかどうか判断してくれる人が周囲にいなかった